

チャペル週報

No.3

2022.4.25～4.28

主を畏れることは諭しと知恵。名誉に先立つのは謙遜。

(箴言 15章 33節)



時計台（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

神の愛、犬の愛

Daniel Gallimore

ウクライナからのニュースを見て、愛犬と共に逃げなければならない光景が忘れられません。自国イギリスでは最近の厳しいロックダウン中に犬を飼う世帯数がかなり増えたそうですが、犬を飼うのは少々難しい私は動物避難所等からのフェイスブックで無料にアップロードできる「ワンちゃん」ビデオをたくさん観始めました。ビデオの典型的なストーリーは、避難所のスタッフが病気でやせ細った捨て犬（とその生後1週程の子犬何匹か）を道端で出逢い、犬をつかまえるために皮ひもで引き寄せ、避難所で獣医医療、餌を十分にやって、最後に優しい飼い主が見つかるという所謂「永遠の家」(‘forever home’) にて飼ってもらおうということです。犬がつかまえられる場面には2点大きな特徴がみられます。まずは、知らない人間をとて怖がる犬に救助者が‘Yes, I know, I know.’(「はい、わかっている、わかっている」)と優しく呼び出すことが多いです。次に、犬が唸ったり噛んだりして捕獲に激しく抵抗しますが、つかまえられると、ほとんどは一瞬で安心して平然として救助者の腕に抱えられるというハッピーエンドになります。この場面を見て、私にはキリスト教における「救い」の伝統的ナラティブが何となく目に浮かびます。人は「知らない」救い主(=神の子イエスキリスト)から呼び出され、始めは狼狽し激しく抵抗しますが、結局信仰を告白し、救われるなら、直ぐに安心すると感じました。私の信じ方では、「救い」は必ずしも劇的な「一瞬」ではなく、一生を通じて続く一連の瞬間からできているものだと思います。聖ヨハネの福音書によると、イエスは「すべての人を自分のもとに引き寄せましょう」(Jn 12: 32)。尚、人が(捨て犬と同じく)イエスの呼びかけに応ずる理由の一つは、イエスが人の恐怖や悩みを既に「わかっている」と感じているからではないでしょうか。パンデミックや戦争の時代には、そうした事実を超越する神を信じる必要を一層大切になっているのではないかと思われまます。捨て犬の‘forever home’をキリスト教の天国と呼ぼうとまでは思いませんが、ビデオから見る犬や私たちが実在に見る可愛いワンちゃんは神の愛のしるしのように思う私です。

(文学部教授)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

4/25 月

神 森本 典子（神学部専任講師）
経 李 相勲（宣教師）
人 宗教総部
建 山根 周（建築学部教授）

26 火

神 吉澤 和海（神学部4年）
文 Andreas Rusterholz（宗教主事）
社 私にとっての「関西学院」① 打樋 啓史（宗教主事）
法 文化総部マンドリンクラブ
経 関西学院と校歌① 舟木 讓（宗教主事）
商 宗教総部
国 動画配信 URL： <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 前川 裕（宗教主事）
総 海外プログラム参加学生
教 音楽チャペル チャペル・オルガニスト

27 水

神 Christian Triebel（宣教師）
社 私にとっての「関西学院」② 中道 基夫（院長）
法 Christian Morimoto Hermansen（宣教師）
商 音楽チャペル グリークラブ
人 イースターを覚えて 嶺重 淑（宗教主事）
国 動画配信 URL： <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 関学のイースター 前川 裕（宗教主事）
教 ヒューマン・サービス支援室

28 木

神 私の出会い② 芦名 定道（神学部教授）
文 Andreas Rusterholz（宗教主事）
社 関西学院の校歌に親しむ 矢橋 洋（社会学部事務長）、グリークラブ
法 宗教総部
経 関西学院と校歌② 舟木 讓（宗教主事）
商 貴島 耕平（商学部助教）
人 山口真史（new-look 代表理事）
総 海外プログラム参加学生
聖和 聖和短期大学イースター礼拝

●イースターイベント開催中

イースターに親しむ、また、キャンパスに親しむことを目的としエッグハントを実施しています！

詳細はkwicをご覧ください。

期間：4月18日（月）～28日（木）16：50まで

プレゼント：イラストを全部集めたら（キャンパス毎）、特製クリアファイルがもらえます。

引き換え期間、場所についてもkwicでご確認ください。

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を歩いて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月末から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 4月28日（木） 関西学院グリークラブ
 - 5月26日（木） 関西学院大学混声合唱団エゴラド
 - 5月27日（金） 関西学院大学応援団総部吹奏楽部
 - 6月23日（木） 関西学院ハンドベルクワイア
 - 6月30日（木） 関西学院ウィメンズ・グリークラブ
 - 7月 7日（木） 関西学院交響楽団（管楽アンサンブル）
 - 7月 8日（金） 関西学院交響楽団（弦楽アンサンブル）
 - 7月15日（金） 関西学院聖歌隊
- いずれも12時45分～13時15分
ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）
主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください】（17:50～18:20 1405教室）

- 4月主題：関西学院のSpirit
- 4月28日（木） 打樋啓史（宗教総主事）
- 5月主題：平和を求めて
- 5月12日（木） 嶺重 淑（大学宗教主事）
- 5月19日（木） 井上 智（宗教センター宗教主事）
- 5月26日（木） 打樋啓史（宗教総主事）

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日（原則）の10時～11時に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

- 5月 8日（日）、22日（日） 10:00～11:00

●関西学院大学文化総部書道部「聖句展」

- と き：5月16日（月）～20日（金）
- 9:00（初日は10:30から）～17:00（最終日は15:00まで）
- ところ：吉岡記念館1階ラウンジ
- 主 催：宗教センター

●ボランティアに関心がある皆さんへ（ヒューマン・サービス支援室からお知らせ）

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

[春のボランティア情報誌『春ボラ』]

https://www2.kwansei.ac.jp/kwansei_c_volunteer/2022/

[ボランティア団体の合同説明会『ボランティア EXPO』]

西宮聖和 : 4月27日（水）～28日（木）@ラーニングコモンズリプラ2階

https://kwanseiac.jp.ecbeing.biz/c_volunteer/news/detail/156

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL : <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

